

夏休み期間に向けて

3学年主任の松永先生より、在校生に向けてのコメントをいただきましたので以下に紹介します。

最近、NHKの朝の連続テレビ『エール』にはまっています。昭和の大作曲家の古関裕而をモデルとして窪田正孝さんが演じています。主人公の裕一（ドラマでは裕一となっています）は、幼い頃から、体育は特にダメで取り柄がない少年でした。そんな、自分に自信がない裕一に、小学校の先生が、「人よりもほんの少し努力するのが辛くなくて、ほんの少し簡単にできること。それがお前の得意なものだ。」と語りかけます。この言葉を支えに作曲という、自分にとって人よりもほんの少し努力するのが辛いものを見つけたのです。凄く奥が深い言葉と感じたのです。私は、「得意分野は?」「興味があることは?」と職業柄聞くことがあります。「人よりもほんの少し・・・」、この微妙で、絶妙なニュアンスに強く惹かれたのです。例えば、「人よりもほんの少しスーッと自分に入って来る知識や物事」「人よりもほんの少しおしゃべりが好きだ」「人よりもほんの少し〇〇が好きだ」など、ほんの少しなら見つけることができるかと思いませんか。

高校生の皆さんは、「自分の進路を真剣に考えなさい。」と周囲からよく言われていませんか。将来への期待や不安が入り混じり感情が落ち着かない時がありませんか。人よりもほんの少し努力するのが辛くなさそうで、続けていけそうな視点から、進路をほんの少し考えてみるのも時にはいかがでしょうか。

1年国コミ科 English Seminar 開催

7月9日から2日間、1年国際コミュニケーション科（以下、国コミ科）の主要な行事の一つであるイングリッシュセミナーが開催されました。このセミナーは毎年国コミ科の1年生に在籍する生徒が参加するもので、年に2回行われます。今回は8日から3日間の予定でしたが、大雨による休校の影響で1日間短縮して行われました。セミナーでは、本校のALTの先生方に加えて、近隣他校のALTの先生方にも協力していただき、会話文の作成、オリジナルカードの制作、クイズなどの活動をすべて英語で行いました。活動中は原則すべての会話を英語で行う決まりがあります。よって、自分の意見を他者に伝える時など苦労が伴いましたが、教科書に載っている英単語以外の語句を使うことになり、英語力の向上につながったのではないのでしょうか。また、多様な活動を通して、学級のメンバー同士の交流を深めることもできたのではないのでしょうか。セミナー終了後、楽しかったという生徒が多く、充実した2日間になったことと思います。



《生徒の感想文 谷川貴啓さん（愛宕中出身）》 私たちにとって今回が初めてのイングリッシュセミナーだったので、どのようなものか分からず緊張していました。が、いざ始めてみると、ALTの先生方のお陰で一気に緊張がとけました。今回のセミナーで学んだことは多く、非常に内容の濃い2日間でした。今回私が学んだ「Do not be shy」（恥ずかしがらない）、「Work actively」（積極的に取り組む）の姿勢を忘れずに、今後も一生懸命学習に取り組んでいきたいです。

長崎県高校野球大会速報

7月14日（火）に佐世保球場で、甲子園大会の代替大会である「長崎県高校野球大会」の1回戦が行われました。対戦相手は創成館。初回、佐商は川口君（西海中出身）らのヒットに四球を絡めて2点を先制。まさかの展開に、スタンドで応援する保護者からは大きな歓声が沸きました。その裏に2点を返されたものの、それ以降は、本校の樋爪君（相浦中出身）と山田君（崎辺中出身）のバッテリーが相手打者を翻弄。



センターの末松君（柚木中出身）やライトの松宗君（崎辺中出身）の好守も光り、5回まで無失点に抑えました。しかし、さすがは甲子園交流大会への出場が決まっている創成館。6回裏に代打攻勢から5点を挙げ、佐商としては苦しい展開に。そのまま2-7で敗戦してしまいました。少ない人数ながら創成館高校相手に互角の戦いを見せてくれた野球部の皆さん、本当にお疲れ様でした。来年は、中学生の皆さん、あなたたちが主役です。ぜひ、本校野球部に入部して先輩たちのように大きな夢を追いかけてみませんか？ 次回は8月下旬の発行予定です。